

全国薬害被害者団体連絡協議会と日本置き薬協会 薬害被害者講習を10年間受講 今年は「筋短縮症の会」浦部氏を招き高崎で

発行：日本置き薬協会 事務局

当協会の「置き薬医薬品販売士講習」の特徴として上げたいのが、毎年「薬害被害者講習」のカリキュラムがあること。

「既存配置販売業者の一定水準研修・講習等の受講について」とする「医薬食品局総務課長通知の講習、研修等の実施体制」の中に、「実施者は、国民的視点に立って、教育、学術等の関係者及び消費者等の参画を求め～（中略）、講習、研修等には、医薬品に有効性のみならず、安全性等に関する内容が適切に含まれるよう配慮すること」とある。

これに則り日本置き薬協会は、全国薬害被害者団体連絡協議会のご協力を得て、「薬害被害者講習」を連続10年間実施してきた。

配置業界はもとより一般販売業の登録販売者講習にあっても、あまり例がないのでなかろうか。今年は6月8日に高崎市総合福祉センターで開催された第1回置き薬講習の一講座として「薬害 筋短縮症の会」の浦部牧子氏に登壇頂き、お話をうかがった。



右が薬害被害者講習講師の浦部牧子氏

（一社）日本女性薬局経営者の会 平成30年度事業を総会決定



同会（代表理事 堀美智子氏）の賛助会員として当会代表理事が出席。配置業に触れておられ、本紙面に事業計画を掲載する。

1. 地域連携委員会

多職種との連携・交流会企画として、地域包括ケアシステム構築に薬剤師として他職種との連携・協働は欠かせない。本年度は、多職種との連携。協働を進めるための交流会を企画する。

2. 商品流通委員会

薬局で取り扱う商材と流通の有り方の検討。在宅でのOTC医薬品の供給などに積極的に取り組む。配置販売業の許可をとり、在宅でのOTC医薬品の積極的な活用の取り組みを推奨するための実証実験を行う。

3. 資質向上委員会

①集合研修 ②通信教育 ③他機関との連携した講習会

本件に関するお問合せ先

日本置き薬協会 事務局

〒332-0034 埼玉県川口市並木2-30-6 内外救急薬品内

TEL 080-5514-7511（有馬） fax 048-251-9657

日 置 協